

事例 24

棚田を核に元気な地域づくり

～棚田地域等緊急保全対策事業「大井谷地区」～

[柿木村]



【地区の概要】

事業年度	平成10年度～平成12年度
事業費	160,000千円
事業内容	耕作道整備 935 m 用水路整備 1,270 m 耐久性畦畔 12,888 m 鳥獣害防護柵 1,600 m 農村公園 1ヶ所 準備休憩施設 1ヶ所

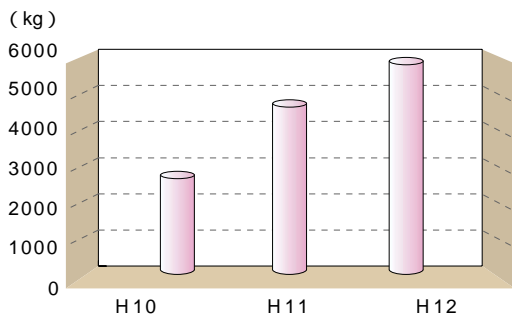
本事業では、営農労力を軽減するため耕作道などを、また、都市住民との交流・連携を促進するため農村公園・休憩施設などを整備し、棚田の保全や地域住民活動の支援を行いました。本地区の棚田面積は30年前まで17haありましたが、現在は、8ha余りに減少^{たすけ}しています。こうしたなかで、住民グループ「助はんどうの会」は積極的に活動し、棚田オーナー制度の運営や棚田米の販売などをとおして、都市交流・地域興しを展開しています。



棚田オーナーによる田植

おいしい棚田米

棚田米販売量



棚田オーナーによる稲刈

棚田オーナー

	H11
契約区画数	22
契約面積 (m ²)	2,530
参加者数 (人)	87



「棚田百選」に選ばれた大井谷地区全景

棚田まつり



本事業で整備した耕作道路、及び修復した石積



労力が軽減され、新たな作付の意欲が出たこと、景観保全意識の高まりなどからボランティアによる復田作業行われました(H13年3月)

H12	H13
26	30
3,210	3,560
90	121

棚田オーナー制度の推移

